第8回 心を整える

今に生きる

僕たちは生きていると

いろいろ考えますよね

「あの時ああしていれば良かった」

「これからどうなるんだろう」

だからこそ反省と準備ができるわけです

ところが、です

過去を反省して修正点を見つけて対応 未来の危険の対策に活かしていく

本来これだけでよかったのですが 僕たちの心はさらに加速します

過去の後悔に心を削られる未来の不安に心が揺らぐ

今この瞬間に生きていない

過去の後悔に未来の不安に

心が休まらない

今目の前の人と話していてもどこかうわの空になってしまう

「今日の晩御飯なんだろう」 「この人は以前こうだったから」 「これから何を話されるんだろう」

今に集中できなければ

パフォーマンスは上がらない

野球のピッチャーが 「打たれるかも」 「ぶつけるかも」 「暴投するかも」

と不安になれば キレのいいボールをストライクゾーンに投げ込めない

ピッチングには今に集中する力が必要だ

ピンチの時に ピッチャーに必要なのは

キレのいいボールを ストライクゾーンに投げ込める 安定した心だ

> それは 「今に全集中する」 ことで生まれる

パフォーマンスを出すのはいつだって 今この瞬間なのだから

今に生きる

どうやったら今にだけ生きることができるのか

ちょっと待ってください

今にだけ生きることはおそらくできません

何故ならば僕たちはただの人間だから

仙人や凄いお坊さんならわかりませんが 人間とは後悔や不安に苛まれる生き物なのです

だから今にだけ生きることはできません

それでも「今に生きる」と考える

マウンドの上で心は揺らぐ それは仕方ない でも「今に生きる」と考えて 意識を今に戻してこよう

一流のピッチャーはこの処理スピードが ものすごく早い

後悔と不安に揺らぎ囚われそうになる心を 今に繋ぎとめるスキルが恐ろしく高い

WBCの決勝戦

アメリカの最後のバッターに 見事なスライダーを投げ込んだ 大谷翔平選手

ー流は「ここぞ」という場面に強い それは何故か

「心を今に繋ぎとめるスキル」が高いからだ

「今に生きる」と考えて 今に意識を集中させる訓練をしているからだ

スラムダンク

王者「山王工業高校」と対峙した 挑戦者「湘北高校」

主人公、桜木花道は言う

「オヤジの全盛期はいつだ?」 「俺は今なんだよ」

今に意識を持ってくる力 今に生きる力

この力は「奇跡」を呼び込む可能性すら秘めている

まとめ

今この瞬間に生きる

- ・後悔や不安は常に付きまとう
- ・人の脳は過去や未来を考える
- 揺らぐのはしょうがないでも囚われるな
- ・囚われないためには「今に生きる」と考える
- ・今この瞬間に生きれば「奇跡」さえ見えてくる

【第8回心を整える】今日のワーク

• 「今に生きる」と毎日 100 回唱えてください

意識に「今」を植え付けるため「今」「今」「今」「今」と唱える

今に生きていきましょう!

きゃむの公式ラインへのアウトプットも待ってます!